

2024 年度 (令和 6 年度) 学校評価自己評価表

中央	中学校区	校番 53	福山市立 西深津小 学校
最終更新日		2024年(令和6年)4月1日	

I 福山市	<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型「スキル&倫理観」」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>
-------	---

II 中学校区	<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の不登校生徒が増加している傾向にある。校区としての取組を進めてほしい。 ・小中学校の授業参観から子ども主体の学びを育む様子が感じられた。引き続き子どもたちの主体性を育む取組を進めてほしい。 ・評価項目の8項目において、十分満足、概ね満足できるという肯定的評価をいただいております。引き続き努力してほしい。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学校において、子どもの主体の学びづくりの中で主体性が育ちつつある。 ○小中で授業研究をすすめ、自分の考えをもち深め、対話する力をつけてきている。 ●全国学力調査の結果から特に中学校における数学、国語の力を伸ばす必要がある。 ●不登校傾向にある児童生徒数の出現率が中学校で高い。 	<p>育成する力 (21世紀型「スキル&倫理観」)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>スキル・・・ A【学びに向かう力】 B【課題発見・解決力】 倫理観・・・ C【自己肯定感】</p> <p>ふるさとを愛し、地域の中で、伸びやかにたくましく成長している</p> <p>1 校区合同で実施する授業研究 2 中学校生徒会による「学校紹介」の実施 3 校区校長会、校区教頭会、校区各主任会等を通しての連携</p>
---------	---	--	--	---

III 自校	<p>ミッション</p> <p>高い志を持ち、たくましく生きる子どもの育成</p> <p>学校教育目標</p> <p>「学ぶ楽しさ、生きる喜び」を持つ子どもの育成</p> <p>現状</p> <p>〈児童生徒〉 ○児童が日常の生活の中で主体性を発揮し、自ら計画・実行する力がついてきている。 ○地域を題材にした活動を通して地域に対する愛着を持っている。 ●自分の思いを自分の言葉で伝えることが難しい。 ●自己肯定感が低い傾向にある。</p> <p>〈授業〉 ○自由な雰囲気の中で対話を通して楽しみながら学習活動に取り組んでいる。 ○学習のあらゆる場面でICTを活用する技能が身につけている。 ●言葉や数の理解が不十分であり、一人一人の学びに向かう力を高めるとともに、基礎学力の定着を図る必要がある。 ●児童が身に付けた知識・技能を活用して、主体的・協働的に学びたいと思える授業づくりが必要である。</p>	<p>育成する力 (21世紀型「スキル&倫理観」)</p> <p>めざす子ども像</p> <p>研究</p> <p>めざす授業の姿</p>	<p>スキル・・・ A【学びに向かう力】 B【課題発見・解決力】 倫理観・・・ C【自己肯定感】</p> <p>低</p> <p>中</p> <p>高</p> <p>テーマ 主体的・対話的で深い学びの創造</p> <p>内容等</p> <p>○児童理解を深め、一人ひとりに確かな知識・技能を身に付けさせる授業力を高める。 ○知識・技能を活用する場につなげる単元構想力を高める。</p> <p>○児童が「わかった」「できた」と語りたくなる知識・技能を身に付ける授業 ○児童が身に付けた知識・技能を「使いたい」と活用して思考・判断する授業 ○児童同士が学びや考えを互いにつなげ、学びを深める授業</p>
--------	--	---	---